

令和3年5月

中
干
し
は
遅
れ
ず
に
開
始
し
ま
し
よ
う
!

生
産
履
歴
を
的
確
に
記
帳
し
ま
し
よ
う
。

乳白粒防止のため早めに中干しを開始しましょう！

稲の活着は概ね良好で、分けつの発生は平年並みです。過剰分けつ防止のため「中干し」は遅れずに実施しましょう。

◆天候と生育に合った水管理の徹底

- 1 稲の活着後または除草剤処理7日後には浅水管理（水深2～3cm）に移行してください。
- 2 温暖な日を選んで、1～2日落水し、田干しを行ってください。特にガスの発生が見られる圃場では田干しを繰り返してください。
- 3 田干しや除草剤使用時期以外は浅水とし、入水する場合は夕方か早朝に行ってください。
- 4 低温及び強風時は深水管理してください。
- 5 稲の生育に合わせて中干しを実施してください。

◆中干しの目安

1 開始時期

田植え1ヶ月後
(6月初旬から)

※ゆめみづほは5月末より開始する。

2 1株当たり茎数

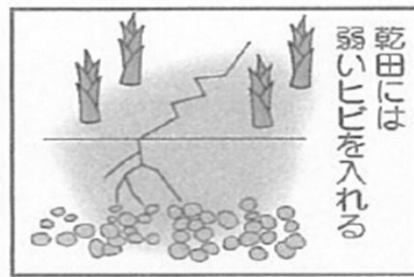
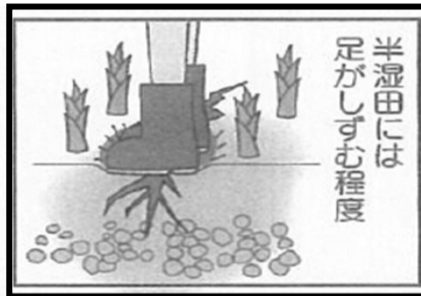
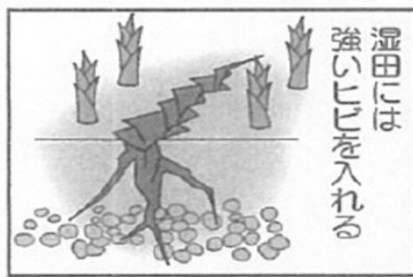
- 15本 (ゆめみづほ)
- 13本 (コシヒカリ)
- 13本 (ひやくまん穀)

3 乾湿田別の程度

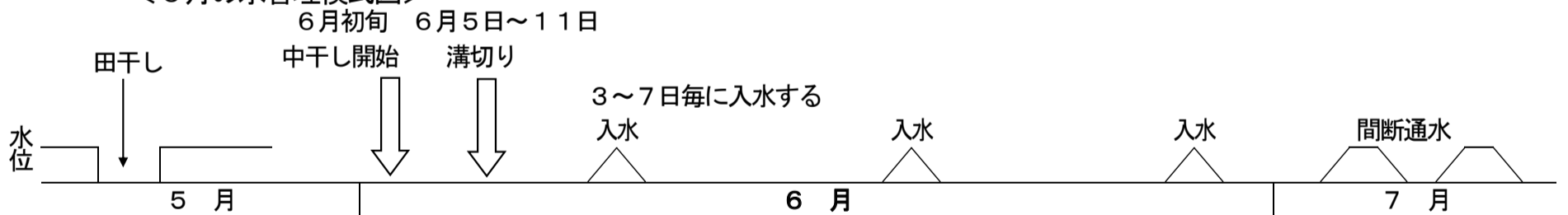
中干し期間中でも、除草剤は散布できます！
 ※期間中、一時的に除草剤散布のため入水しても、中干しの効果は得られます。
 (散布薬剤については裏面をご確認ください)

中干し・溝切りの効果

1. 無効分けつを抑え、茎を丈夫にする。
2. 節間を縮め、倒伏させない。
3. ガスを抜き、根張りを良くし、根の活力を高める。
4. 通水管理が容易になる。
5. コンバイン収穫に支障がでない。



<6月の水管理模式図>

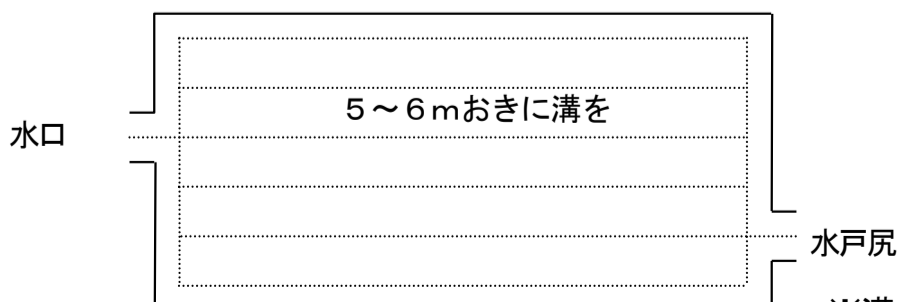


4 溝切り開始時期の目安

6月5日～11日 (一斉溝切りウィーク)

5 溝切りで中干し効果が向上・間断通水が容易

【溝切りの方法】



※溝は水口と水戸尻を結ぶ

**大麦作付け予定圃場は
必ず溝切りを行いましょう！**

◆残った草の除草対策 ～ 農薬使用後は7日間止め水管理を徹底しましょう ～

処理場面	薬剤名	使用時期	10a当たり 使用量	注意事項及び使用回数
ノビエの 取りこぼしが 多いとき	クリンチャーEW	移植後20日～ノビエ6葉期 (但し、収穫30日前まで)	100ml 水25～100ℓ	・展着剤加用 ・落水散布 ・2回以内
	ヒエクリーン 1キロ粒剤	移植後15日～ノビエ4葉期 (但し、収穫45日前まで)	1kg	・湛水散布又は無人航空機 ・1回
広葉雑草が 多いとき	バサグラン液剤	移植後15日～55日 (但し、収穫50日前まで)	500～700ml 水70～100ℓ	・落水散布 ・2回以内
	バサグラン粒剤	移植後15日～55日 (但し、収穫60日前まで)	3～4kg	・落水散布 ・1回
ノビエと 広葉雑草の 同時除草	アトトリ1キロ粒剤	移植後14日(稲葉5葉期) ～ノビエ4.5葉期 (但し、収穫45日前まで)	1kg	・湛水散布又は無人航空機 ・1回以内
	アレイルSC	移植後25日～ノビエ5葉期 (但し、収穫45日前まで)	500ml	・湛水散布、落水散布 ・1回
	アクシズMX 1キロ粒剤	移植後7日～ノビエ4葉期 (但し、収穫45日前まで)	1kg	・湛水散布又は無人航空機 ・1回

◆箱施薬していない場合や直播圃場では葉いもち予防を行いましょう。

対象病害虫	使用時期	薬剤名	10a当たり使用量	備 考
葉いもち	6月10日～15日	オリゼメート1キロ粒剤	1kg	湛水状態(水深3～5cm)で散布し、7日間止め水管理とする。

※補植苗の放置は葉いもちの発生源となります。早急に処分しましょう。

◆珪酸分の施用により健全な稲体をつくろう。

肥料名	施用時期	10a当たり施用量
PKけいさん	6月15日～20日	30kg

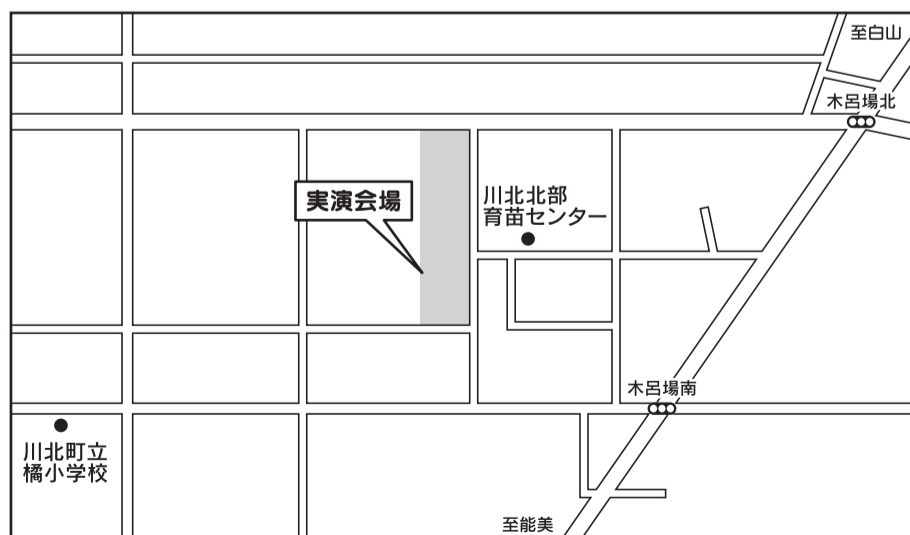
【省力型溝切り作業実演会の開催について】

日時：6月3日(木)9時00分～

場所：能美市川北町

機械(予定)：乗用溝切機

溝切り作業を効率的に進めるための、
乗用型溝切り機の実演をします。
長靴をご持参の上、
お気軽にお越しください。



詳しいことは営農指導員にお尋ね下さい